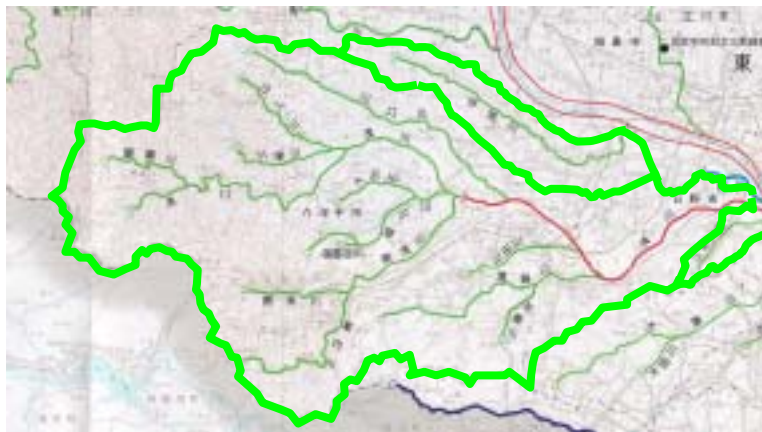


浅川圏域河川整備計画の概要

浅川圏域ってどこ？

浅川圏域とは、多摩川の支川である浅川の流域13河川と谷地川、程久保川を加えた15河川の流域のことです。



既に整備された区間
(川口川：佐貫橋下流)



山間部を流れる溪流区間
(浅川：夕焼け小焼け公園上流)



圏域の市街化状況

平成13年時点において、圏域内の市街化の割合は42%です。さらに将来的には47%程度にまで上昇すると予想されます。従って、これからの市街化も考慮して、洪水を安全に流す川の整備を引き続き進める必要があります。

昭和28年
市街地 9.0%
自然地 91.0%

昭和52年
市街地 29.2%
自然地 70.8%

平成13年
市街地 42.1%
自然地 57.9%

凡例
市街地 
自然地 



川の環境



水辺に近づくことができる親水性のある整備が求められています。

谷地川



魚などのいきものにやさしい川づくりが求められています。

南浅川

浅川圏域では、中下流部の市街化が進行している地域においては治水上の安全性を確保し、上流の自然豊かな渓流部については、適切な維持管理をしていくことを基本として生態系や親水性に配慮した川づくりを行っていきます。

計画対象区間と期間

計画の対象区間は、浅川の流域13河川に谷地川、程久保川を加えた15河川です。計画の期間はおおむね20年から30年を目標としていますが、計画が策定された後も川をとりまく状況の変化や社会状況の変化に応じて見直しを行います。

河川の整備

治水・・・洪水による水害の防止又は軽減

1時間あたり50mm規模の降雨で起きる洪水を安全に流すことのできる川づくりを目標としています。



未整備部の谷地川
(八王子市宮下町)

洪水を安全に流す
能力を確保します

今の狭い川から環境に
配慮して河幅を拡げます



拡幅整備した谷地川
(八王子市加住1丁目)

利用・・・河川の適正な利用

人々が水辺に集い、賑わう拠点として空間の創出を目指しています。



水辺で遊ぶ子供たち
(川口川)

散歩やサイクリングで
利用されている
(南浅川)



旧河川敷を利用して
緩傾斜護岸を整備
(谷地川)